

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

テガラ株式会社

山形市にあるテガラ株式会社の庄司晴希さん取材しました！

庄司さんは東北大学工学部情報知能システム総合学科を卒業した後、2017年に入社しました。現在は山形支店のリーダーとして、新規事業開発室で勤務しています。

(1) 仕事内容編

——現在の仕事内容について教えてください。

現在の業務は、まず山形支店のリーダーとして、実務の取りまとめや総務、経理関連などを行っています。

メインは、新規事業開発です。当社の主な事業は二つあって、一つは研究開発者向けに、すごく難しい計算を行うためのハイスペックなパソコンをオーダーメイドで作るサービスで、もう一つは、同じく研究開発者向けに海外製品を輸入して販売するサービスですが、私のメインである新規事業開発の部署は、その二つの事業に加えて「もっと幅広く、研究者を支援するようなサービスを新しく立ち上げたい」という目的で立ち上がりました。

——具体的にはどのようなサービスを考えているのですか。

今、取り組んでいることとして、試作サービスがあります。研究者が「こういうことを実現したい」というときに、そのために「何かを作りたい」という場面が出てきます。例えば、四足歩行の犬型ロボットを「走らせて、周囲のデータを取得したい」と研究者が考え





たときに、「その周囲のデータを取得するカメラと、ロボットに取り付けるためのパーツがほしい」となります。私たちは、そのための試作サービスを提供するといった、研究者をお手伝いするためのいろいろなものを提供しようというのが一例です。

——支援をする研究者はどのような分野が多いのですか？

分野はかなり広いです。工学系、情報系・・・幅が広すぎて、なかなか特定するのは難しいのですが、ロボティクス、医療系の画像処理、数値計算、シミュレーション、あとは化学系もあります。

新規事業という観点では、一度ターゲットを絞ってから、その後に広げていこうと考えているところです。

——海外との取引もあるとのことですが、大変だったことはありますか？

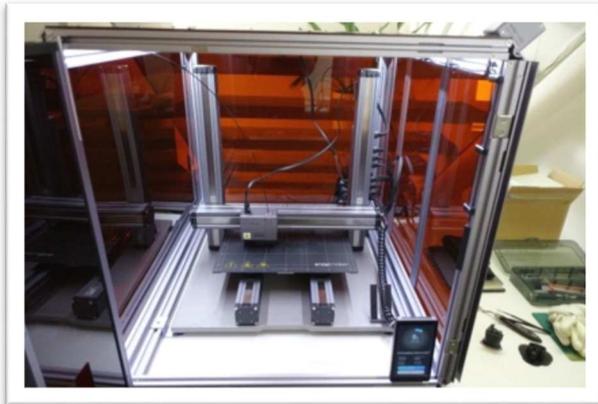
現在の部署に入る前に営業をしていたのですが、国内のお客様からある海外製デバイスがほしいという案件があり、私はその海外メーカーとお客様の間に入って、取り持ちをしていました。

言語や文化の壁がある中で、三者でオンラインミーティングをする機会があり、通訳として入ったのですが、お客様から「こういうことはできないか」ということをメーカーにうまく伝えつつも、メーカーから「できない」と返ってきたときにその「できない」をお客様にどう説明するかに悩みました。お客様の「こうしてほしい」と海外メーカー側の「ここまでだったらできる」という間の調整が大変だったのですが、とても面白い経験だったと思います。

結果的にはこの取引は成功して、お客様のほうで作った製品がまた誰かのところで役に立っているのが想像できるので、そこは嬉しいなと思います。

——海外メーカーとのやり取りのお話を聞いていて思ったのですが、コロナ禍で何か変わったことがあれば教えてください。

実は、もともと海外メーカーとのやりとりはメールがメインになるので、コロナ前後で変わることはあまりないですね。お客様側とのやりとりもメールがメインなのであまり変わりません。海外については、実際に行くことはほとんどありません。



(2) 職場編

——入社を決めた理由についてお伺いします。

私は工学部出身なので、事業内容とリンクすることがまず一つですね。でもこれはメインの理由とは言えないかもしれません。

仕事は1日8時間×週5日を1ヶ月×12、それが40年続くので、人生の時間の三分之一は、仕事をしていると思います。何のために仕事するかは人それぞれだと思いますが、私はただお金をもらうためだけに仕事する、ただ食べるためだけに仕事するのが嫌でした。

いろいろ会社を見ていたのですが、当社代表の佐藤と話す機会があって、「この会社は従業員の人生と向き合っているような気がするな」と感じました。それで決めましたね。何をするかではなく、どういった環境であるかということが私にとって大事だったということです。

——社員を大切に作る素敵な会社ですね。それに関連して、入社してよかったと思うことはありますか。

入ってよかったと思うメインの理由は、中小企業で人数がそんなに多くないので、必然的に仕事の幅が広がることですね。経験できる範囲として、千人いる中のその一つの領域だけというよりは、十人の中の一つをやる感じなので、全体が見えやすく、自分に合っていると感じます。

あと、風通しがいいというか、結構好きに言っている面があります。「あれしたらいいんじゃないか」「これどうですか」というように。そういう提案をしても、突っぱねずにとりあえず一回は聞いてくれて、その上で考えてくれます。私は経験年数が浅い方ですが、今は支店のリーダーを経験させてもらっていますし、チャンスをくれるので成長するという面でもいい環境だと思います。

——中小企業の良さを最初から意識して入社を決めたのですか。

ぶっちゃけて言うと、半分も意識していなかったですね。「この会社がいい」と思って入ったのは事実ですが、先ほど言った「人数が少ないからこそ幅広く」は入ってから気づきました。就活のときは大企業に目が行くことが多かったので、ある意味サプライズ的な感じで気づいたことです。



——庄司さんから見たテガラのアピールポイントはありますか？

自由にやらせてくれることです。そもそも新規事業開発には答えがないのですが、答えがないからこそ、自分の好奇心に従って行動できます。仕事に限らず、プライベートでも自分のやりたいこと、興味を持ったことに対して力や時間を使いたいと思っているので、自分の価値観と合うような気がします。



人によりますが、すでに形が決まっている仕事がしたい人がいる一方で、自分の創意工夫を活かしたいという人がいると思います。そういう意味では、私は思いつきでいろいろやりたい方なので、そういう人には合う会社だと思います。

——自分の創意工夫が取り入れられるのはいいところだと思いますが、その分責任も大きいですね。

そうですね。企業として、最終的には利益を出さなければならないので、プレッシャーがないわけではありません。というのも、新規事業開発室は他事業の利益を割いてもらって動いていますので、他の事業が目の前にある仕事だとすると、新規事業開発は何年後、何十年後のための種を蒔いているようなものです。どういう実がなるかわかりませんが、結果を出さなければならないという難しさがありますね。

——掲示してある「行動方針」が気になったのですが、これはどういうものですか？

行動方針は、毎年社長が作っていて、今年はこれを頑張ろうというものです。今年は、「ほめる、与える、あげる」で、社員同士、ポジティブな発信をお互いにしようということです。おだてるわけではありませんが（笑）、僕も基本的にいいねと言われた方が嬉しいですし、お互いにそうすることで社内の雰囲気良くなって、チャレンジングで前向きな雰囲気を作る基盤になると思います。



——そういう前向きな社風なのですか？

そうですね。今も割とチャレンジしやすい雰囲気ですが、もっと活発な雰囲気の方が楽しいかなと思いますね。そのために頑張ります（笑）。

従業員も人間同士なので、苦手な人がいるとかどこの会社でもあると思いますが、大人同士としてお互いを尊重する雰囲気はあります。仲間同士なのだから、ちゃんと向き合いましょうねということで、人間関係をみてもギスギスした感じはしないと思います。

——福利厚生面でよいと思うことはありますか？

福利厚生面では、休みが取りやすいと思います。1歳半の娘がいますが、子どもはすぐ熱が出るので病院に連れて行くことが多くて、そういうときに抜けやすいですね。最近、時間単位の有給休暇制度が導入されて、1時間単位で休むことができるようになったので、そういった突発的な休みもそうですし、通院や役所の手続きをしやすく、それぞれの事情に合わせてくれる感じです。育児休業を取得した男性もいます。私は、娘が生まれた直後にはリモートワークで働いていましたので、融通がきくと思います。

(3) ある日の過ごし方編

●9:00 【朝礼】

朝礼では連絡事項を伝えます。今日の予定を共有したり、案件での懸念事項を話したりします。

●9:15 【業務開始】

まずメールでの顧客対応をします。お客様からの依頼について調べたり、結果を案内したりします。技術サポートも行っているため、不具合があればその物品の検証をしています。



●12:00 【お昼休憩】

お昼は職場で食事をしたり、外出したり、雑談したり、寝たり、好きに過ごします。

●13:00 【午後の業務開始】

まとまった時間が必要な仕事を行います。例えば、混みいったデバイスの検証作業や、設定に時間がかかるような仕事、You Tube 動画の編集作業などです。



●17:00 【海外向けのメール作成】

海外とは時差があるので、夕方からメールを作成して送るようにします。

●18:00 【退勤】

その日の報告を書いた後、午後6時に退勤します。

(4) むらやまでの暮らし編

——就職活動をしていたときには、山形で働くことにどれくらいこだわりがあったのですか。

私は働く場所にあまりこだわりがなかったのですが、もともと山形出身であったことは就活に影響したかもしれません。実際は県外でもいいと思っていて、そんなに山形に戻りたいという感じではなかったと思います。

今になってみると、実家が近いという面では、子育ての協力が得やすかったりして、そういう面ではいいなと思っています。なんだかんだ言っても幼少期は山形で育ったので、過ごしやすいと感じています。

——子育ての面で山形に住んでいてよかったことはありますか？

実家が近いことが一番ですが、あとは結構遊ぶところが多いと思います。人も多すぎなくてちょうどいいです。特に天童の「わくわくランド」の噴水は娘がすごくお気に入りです、インスタ映えする写真が撮れて嬉しかったです。



——子ども向けのスポットがあるんですね。

他の地域にもあるのかもしれませんが、子どもが生まれてから探したら、「山形って結構いろいろあったんだな」という発見がありました。お金もかからないので、ありがたいなと思います（笑）。

——山形が落ち着く環境だなと思うところがありますか。

たしかに、東京みたいな焦りは感じないですね。外を見てもすごく緑が豊かなので、落ち着く環境だなと思いますね。冬の雪は落ち着きませんが（笑）。



(5) まとめ編

——今後の目標はありますか？

今考えている目標は、新規事業開発室でなにか形ある事業を残したい、一つ立ち上げたいということです。もちろん個人の目標もありますが、一人でできるようなことではないので、チームの目標でもあります。この目標達成に向けて前進させられる環境をどうやってつくるか、というところで力を尽くしたいと考えています。



——「テガラにはこういう人が向いている」というものはありますか？

何かに挑戦したいという人が来るといいと思います。前向きなエネルギーを持っている人ですね。最初は言われたことをひたすらやるのもいいですが、時間が経つにつれて周りはいきなり成長していくので、変化しない姿勢のままだとどんどん置いて行かれてしまいます。

前進しようという考えや、何か変えていこう、挑戦していこうという意識がある人に向いていると思います。自分自身が成長しようという姿勢も大事ですし、その成長をどう会社に活かして、どう会社を前進させようかと頭を使ってくれる人がいいですね。

——話は変わりますが、大学時代にこれをやっておけばよかったなということはあるですか？

もっと遊んでおけばよかったなと思います（笑）。半分冗談、半分本気です。少しでも興味があるものに手を出して遊んでおいた方がいいですね。自分の時間が社会人になったら取りづらくなります。逆に学生の時期だと、まとまった時間が取りやすい。僕はロボットが好きで、ロボコンに出ていたこともあります。そういう興味のあることに時間を割いたほうが良いと思います。

自分が何をしたいかわからないと思うので、そういうことに向き合う時間としては、学生時代をもっと活用できたのかなと今さら思います。

——アグレッシブになんでもやっていった方がいいということですね。他にも、社会人になって、大学生の時の社会人に対するイメージとのギャップがあったら教えていただきたいです。

恥ずかしい話で、大学時代は「自分はなんでもできるんじゃないか」と思っていた時期があったのですが、社会人になって実際にやってみると、「自分は何もできない」と感じました。それが個人的に感じたギャップです。そこでちゃんと自分と向き合ったことで、自分が本当は何がしたいのかを考えるきっかけになりました。

あとは、私は大学生の頃は生活リズムがぐちゃぐちゃでした。恥ずかしいことばかり喋っていますが（笑）。今はお客様がいるので、健康的にもメンタル的にも安定しなくちゃいけません。迷惑をかけてしまうので。自分が本当にやりたいことをやるためには、最低限やらなくてはいけないことをやる必要があることがわかりましたね。少なくとも学生時代よりは責任感が身についたと思います。意外と人間は適応するんですよ（笑）。

——ありがとうございました！

研究開発者向けのサービスという普段関わることもない、よく知らない仕事だったので、貴重なお話を聞くことができました。また「会社を良くしよう」というチャレンジングな会社の雰囲気や、庄司さんが、会社や自分の未来についてとてもよく考えている姿勢に感銘を受けました。



社会人である現在と大学生時代の考え方の違いについても、詳しくお話ししていただき、現在大学生の私たちにとっても、とてもためになる内容をお聞きすることができたと思います！

【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 佐藤葉瑠紀、雅楽川龍成、佐伯俊輔、阿部真夕】

テガラ株式会社

★テガラのお客様は「全国の大学・企業の研究開発者さま」です！

最先端の情報技術を知り、自分自身も常に進化し続けることができます！変化に合わせてチャレンジし続ける社風で、若手からベテランまで、掴めるチャンスは無限大！切磋琢磨しながら様々な知識を身につけることが可能です！

- ・所在地 山形県山形市緑町 4-14-36
(本社：静岡県浜松市中区細島町 8-3)
- ・設立 平成 3 年 6 月
- ・従業員数 37 名（男性 17 名、女性 20 名）
- ・事業内容 研究用/産業用オーダーメイド PC の提案・製作・販売
研究開発者向け海外製品調達、コンサルテーションサービス
- ・URL <https://www.tegara.com/>

